



編集後記

「看脚下」一禅語で「脚下照顧」あるいは「照顧脚下」とも言います。簡単な例で言えば、心を美しく落ち着かせるには足下（あしもと）を見よ——脱いだ履物を揃えるところから始まる、といった意味です。私たちの足下はどうでしょうか？期せずして、看護棟が建つ前の足下の写真を人間科学1講座の協力研究員である宮原龍郎先生から見せていただきました。昭和50年代前半の写真のように思えます。思えば、学生時代に私もここに車を駐車していました。舗装すらされておらず、何もなかったこの場所に現在のような看護教育の場ができるとは！ 本当に隔世の感があります。そして本号には、「足趾のフィジカルアセスメント」に関する短報が二つ掲載されています。「他人の足下を見る」というのは弱点につけ込むという意味合いもあり、良くないイメージを持ちますが、医療において「患者さんの足趾をよく見る」ことは大事な視点だと思っています。看脚下—意味を転じて、私たちの看護教育体制の足下もよく看なければなりません。次年度には看護学科設立20周年を迎えることとなり、内外から期待されています（金森昌彦）。